

技術・人材のスピン・オフ円滑化 (CVCを通じて経験したこと)

2003年1月30日

(株)日立製作所 中央研究所 西野壽一

新事業の創生とスピン・オフ

- 日本産業の今後（競争力、活力）
- 実際のスピン・オフに関係してみても

日本産業の今後

- 新製品の開発と市場への投入が生き残りに
にとって重要
- イノベーションをどのようにして生み出してい
くのか
- 研究開発機関を核としてベンチャ企業や大き
な企業が集まり、互いに知識を共有して創造
的なビジネスの開拓を行う、クラスターの強
化。

スピン・オフの実際と学んだこと

■ 幾つかのスピン・オフ会社設立に関与

■ 学んだこと

- ① スピン・オフの実際について
(仕掛け作り)
- ② ベンチャ企業そのもの
- ③ 内外のベンチャ企業育成体制

経験したこと(スピン・オフの仕掛け作り)

■スピン・オフした人材と元の会社が 良い関係を維持できる仕掛け作り

募集方法

退社時の扱い(含 退職一時金)

特許ほかIPの使用に関する契約

Win-Winをつくり出すための仕掛け

支援の方法・内容が、元の会社の

株主から見ても常に合理的であること
どこまで元の社内でインキュベートするか
エンジェルを誰がするか

ベンチャ企業そのものについて学んだこと

(1) ビジネスの分野選び

コア(核)にしたい「アイデア」や「技術」
実際には、分野、モデルを臨機応変

(2) 一人何役も

リソースは常に足りない

(3) 仲間作りが大事

プライドが邪魔をして

(4) 資金集め

時間はお金と同じくらい大事

自分の志と投資家の興味のズレ

(5) 経営者の人柄

理想の人材は簡単にはいない